

株式会社 バイク王 & カンパニー

FY2023 1st Quarter 決算説明資料(第26期)

Ended Feb. 28, 2023

バイクのことなら

BIKE 王

1. FY2023 1st Quarter 業績概況 P2
2. FY2023 1st Quarter 取り組みの進捗 P15
3. 【参考資料】 会社概要等 P22

(注) 原則として表示金額については、百万円未満切捨てで表示しております。

FY2023 1st Quarter 業績概況

	FY2022 1Q	FY2023 1Q	前年同期比	
売上高	6,946 百万円	7,819 百万円	12.6%増	873 百万円
営業利益	250 百万円	57 百万円	77.2%減	▲ 193 百万円
経常利益	625 百万円	105 百万円	83.2%減	▲ 520 百万円
四半期純利益	474 百万円	69 百万円	85.3%減	▲ 405 百万円

◎バイクブームを背景とした原付二種以上の需要の高まりは継続しており、高市場価値車両を仕入れて販売する取り組みにより、リテールおよびホールセールいずれも売上高は増収。しかしながら、一部仕入価格に上振れが発生。

売上高：増収

- 高市場価値車両を販売したことにより、ホールセールの車両売上単価は大幅に上昇し、全体の車両売上単価は前年同期比6.3%増
- ホールセールおよびリテールは堅調に推移したことにより全体の販売台数は前年同期比5.9%増

営業利益・経常利益・四半期純利益：減益

- 営業利益は、一部仕入価格に上振れが発生したことにより、平均粗利額（一台当たりの粗利額）は大幅に減少、商品在庫評価減見積りの変更による影響額が減少したことにより売上総利益は前年同期比2.9%減
- 経常利益は、前1Qにおいて営業外収益として計上した関係会社からの受取配当金340百万円を除くと285百万円となり、実質的な経常利益は、前年同期比63.2%減

	FY2022 1Q	FY2023 1Q	前年同期比		売上構成比	
					FY2022 1Q	FY2023 1Q
売上高	6,946 百万円	7,819 百万円	12.6%	873 百万円	100%	100%
(内訳)	ホールセール	4,120 百万円	12.9%	530 百万円	59.3%	59.5%
	リテール	2,645 百万円	12.3%	324 百万円	38.1%	38.0%
	その他	181 百万円	10.4%	18 百万円	2.6%	2.5%

◎需要は堅調、販売価格・台数が増加し、ホールセール、リテールともに好調に推移

ホールセール：増収

- オークション市場が堅調に推移し、販売台数はやや増加、高市場価値車両の中でもより需要が高い車両を販売したことにより
車両売上単価（一台当たりの売上高）は大幅に上昇し、売上高構成比は59.3%から59.5%とほぼ変わらず
- 増収の内訳は、台数要因162百万円、単価要因368百万円

リテール：増収

- 車両売上単価（一台当たりの売上高）は、排気量構成の変化により前年同期を下回ったものの、前期に新規出店、移転・増床した店舗の影響により
販売台数は増加し増収。ただし、ホールセールも伸長したため、売上高構成比は38.1%から38.0%とほぼ変わらず
- 増収の内訳は、台数要因378百万円、単価要因▲54百万円

		FY2022 1Q	増減要因				FY2023 1Q
			台数	単価	その他	合計	
売上総利益		2,884 百万円	234 百万円	▲ 249 百万円	▲ 68 百万円	▲ 83 百万円	2,800 百万円
(内訳)	ホールセール	-	76 百万円	▲ 121 百万円	-	▲ 44 百万円	-
	リテール	-	157 百万円	▲ 127 百万円	-	29 百万円	-
	その他	-	-	▲ 68 百万円	▲ 68 百万円	-	-

ホールセール：減益

- (台数要因) オークション市場が堅調に推移したことにより販売台数はやや増加し、76百万円の増益
- (単価要因) 仕入台数の確保に注力し在庫確保に努めたものの、一部仕入価格に上振れが発生したため平均粗利額が前年同期よりも大幅に下回り121百万円の減益

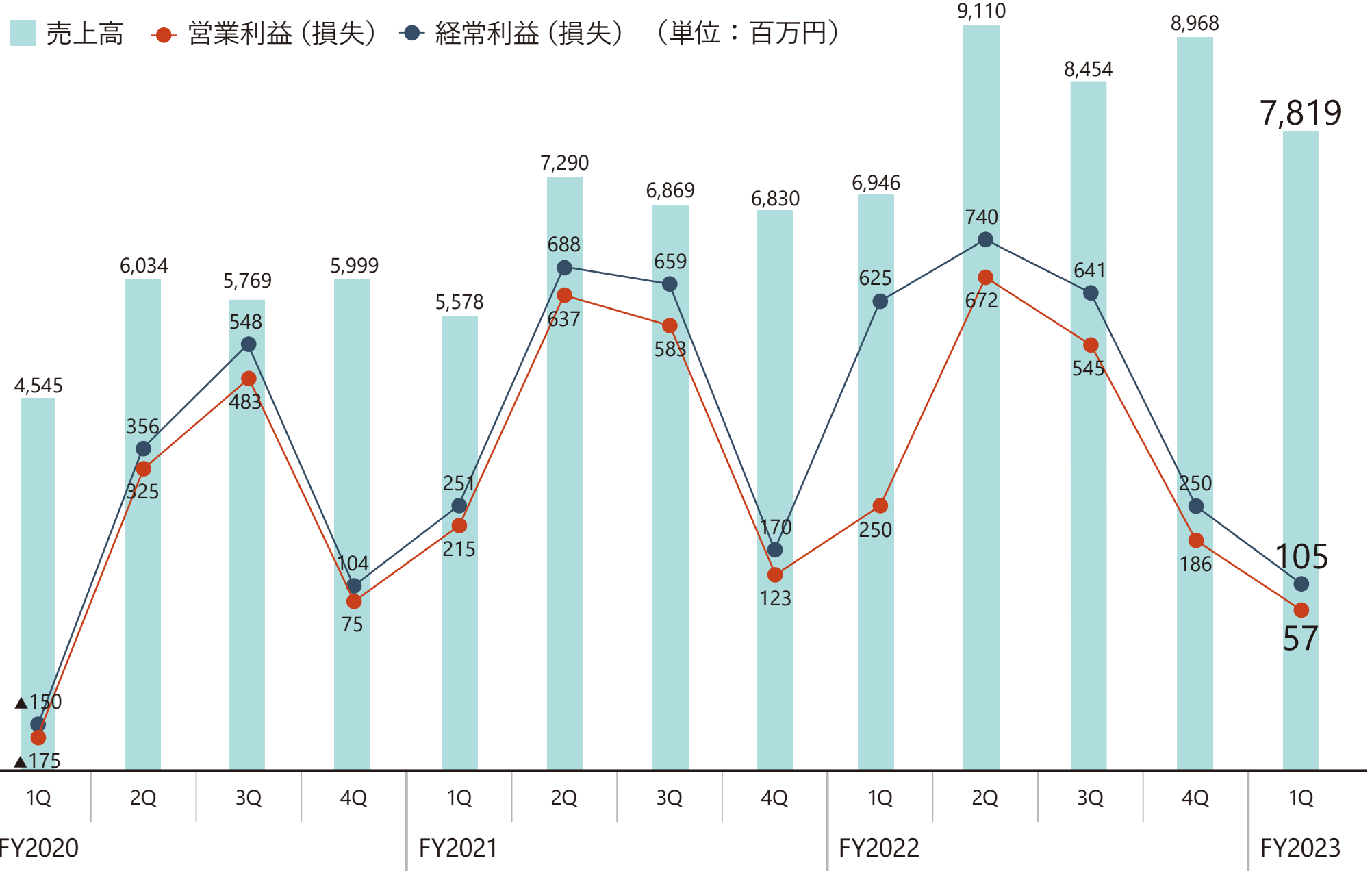
リテール：増益

- (台数要因) 前期に新規出店、移転・増床した店舗の影響により販売台数は増加し、157百万円の増益
- (単価要因) 仕入台数の確保に注力し在庫確保に努めたものの、一部仕入価格に上振れが発生したため平均粗利額が前年同期よりも大幅に下回り127百万円の減益

その他：減益

- 商品在庫の評価として、仕入後一定期間が経過した場合、段階的に評価減を実施
しかし、リテールの拡大等による車輛売上単価の上昇、バイクユーザーへの販路拡大等により、在庫期間が長期に渡る車輛であっても一定の売却実績、利益確保実績が認められたことから、売却実績等を加味したより精緻な見積り方法に前期から変更
この結果、前1Qは71百万円の利益への影響がありましたが、当1Qにおいては商品在庫評価減見積りの変更による影響額が減少したことにより減益

四半期毎の売上高／営業利益／経常利益



	FY2022 1Q	FY2023 1Q	前年同期比	
販売費及び一般管理費	2,633 百万円	2,743 百万円	4.2%	109 百万円
販売費	992 百万円	1,040 百万円	4.8%	47 百万円
人件費	1,014 百万円	1,011 百万円	▲ 0.2%	▲ 2 百万円
管理費	627 百万円	691 百万円	10.3%	64 百万円

販売費：増加

- 高市場価値車輛の仕入台数最大化を目的としたWEB広告の強化施策による増加

人件費：減少

- 業績状況を踏まえた賞与引当金繰入額による減少
- 従業員数が前年同期比+31人による増加

※FY2022末時点の従業員数（派遣社員・パートタイマー除く）：980人

管理費：増加

- 前期における店舗の新規出店および移転・増床による地代家賃および水道光熱費による増加

主な経営指標と店舗・人財

	FY2022 1Q	FY2023 1Q	前年同期差異
売上高総利益率	41.5%	35.8%	▲ 5.7%
営業利益率	3.6%	0.7%	▲ 2.9%
経常利益率	9.0%	1.3%	▲ 7.7%
ROE	8.1%	1.0%	▲ 7.1%
店舗数 <small>FY2022: 期末時点 FY2023: 4月4日時点</small>	71	72	1
うち複合店数	67	69	2
従業員数 <small>(派遣社員・パートタイマー除く)</small>	960	991	31
リテール台数比率	18.8%	20.3%	1.5%

売上高総利益率

- 高市場価値車輛を中心に仕入れて販売する取り組みにより、リテールおよびホールセールいずれも売上高は増収したものの、一部仕入価格に上振れが発生したことにより売上高総利益率は低下

営業利益率・経常利益率

- 一部仕入価格に上振れが発生したことにより、平均粗利額（一台当たりの粗利額）は大幅に減少、商品在庫評価減見積りの変更による影響額が減少したことにより営業利益率は低下
- 前1Qにおいて営業外収益として計上した関係会社からの嵩上げ要因が消滅したことが影響し経常利益率は低下

店舗数

- 新規出店（1店舗）、移転・増床（1店舗）により、リテール車輛の展示台数が前期末比約170台増加

貸借対照表



〈資産の部〉		(単位：百万円)	
	FY2022	FY2023 1Q	増減額
流動資産合計	9,102	8,284	▲ 818
現金及び預金	2,768	2,110	▲ 658
売掛金	250	383	132
商品	5,834	5,495	▲ 338
その他	249	295	45
固定資産合計	2,914	2,964	49
有形固定資産	1,050	1,075	25
無形固定資産	612	607	▲ 5
投資その他の資産	1,251	1,280	29
資産合計	12,017	11,248	▲ 769

〈負債・純資産の部〉		(単位：百万円)	
	FY2022	FY2023 1Q	増減額
負債合計	5,091	4,456	▲ 635
流動負債合計	4,327	3,540	▲ 787
買掛金	277	291	13
短期借入金	1,100	1,110	10
前受金	818	714	▲ 104
その他	2,132	1,423	▲ 708
固定負債合計	763	915	151
純資産合計	6,925	6,792	▲ 133
負債純資産合計	12,017	11,248	▲ 769

資産の部

- 流動資産：法人税等の納税および店舗開発による現金及び預金の減少
- 有形固定資産：店舗の開発による増加
- 投資その他の資産：子会社「株式会社オズプロジェクト」への投資による関係会社株式などの増加

負債・純資産の部

- 流動負債：法人税等の納税による未払法人税等の減少
- 固定負債：店舗開発を目的とした長期借入の実施による増加
- 純資産：利益剰余金の減少

1月10日に公表いたしました通期業績予想より変更はございません。

(単位：百万円)

	FY2022 実績	FY2023 今回予想	増減額	増減率 (%)
売上高	33,480	34,500	1,019	3.0
営業利益	1,653	1,900	246	14.9
経常利益	2,259	2,150	▲ 109	▲ 4.8
経常利益率 (%)	6.7	6.2	—	—
当期純利益	1,550	1,470	▲ 80	▲ 5.2
1株当たり年間配当金 (円)	※24.0	30.0	6.0	25.0
配当性向 (%)	21.6	28.5	—	—
1株当たり当期純利益 (円)	110.99	105.26	▲ 5.73	▲ 5.2

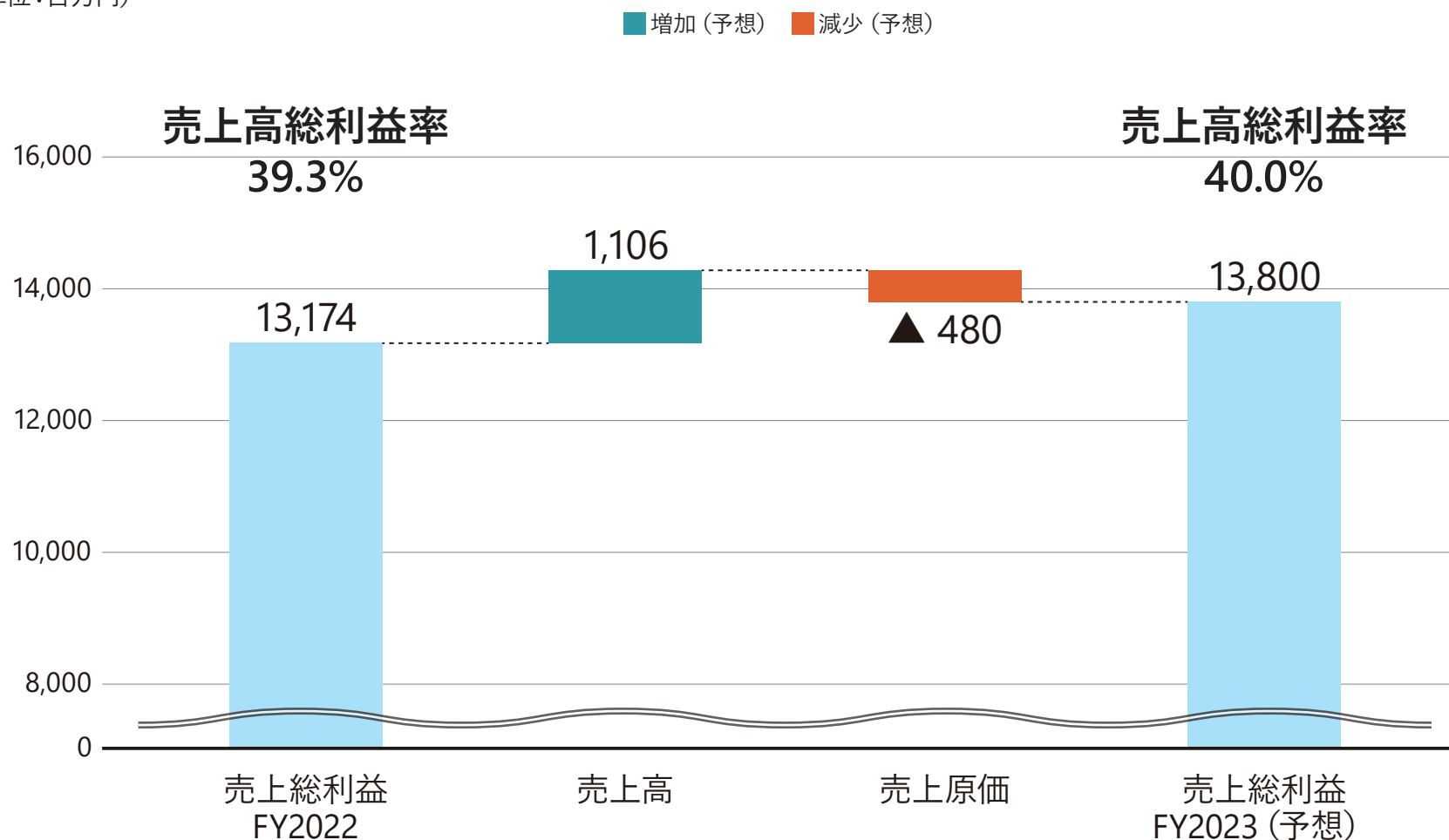
※特別配当金4円含む

前提

- 車両売上単価
FY2022 と同水準
- 販売台数
リテール台数増加、ホールセール台数 FY2022 と同水準
- 出店計画
新店・移転増床を踏まえた店舗開発を 11 店舗実施
 - ① 買取店舗の複合店化
 - ② 人口が集中する首都圏でのドミナント出店の推進
 - ③ 政令指定都市を中心とした、収益性の高いエリアから優先して店舗開発
 - ④ 投資回収期間 36 ヶ月以内
- CRM の強化
 - ・ バイク王会員増加（現在のバイク王会員数：約 13 万人）
 - ・ CRM システムの開発および運用
- その他
 - ・ FY2022 に引き続き株式給付信託制度継続（期末に約 2 億円計上）
 - ・ マーケティング費は FY2022 と同水準

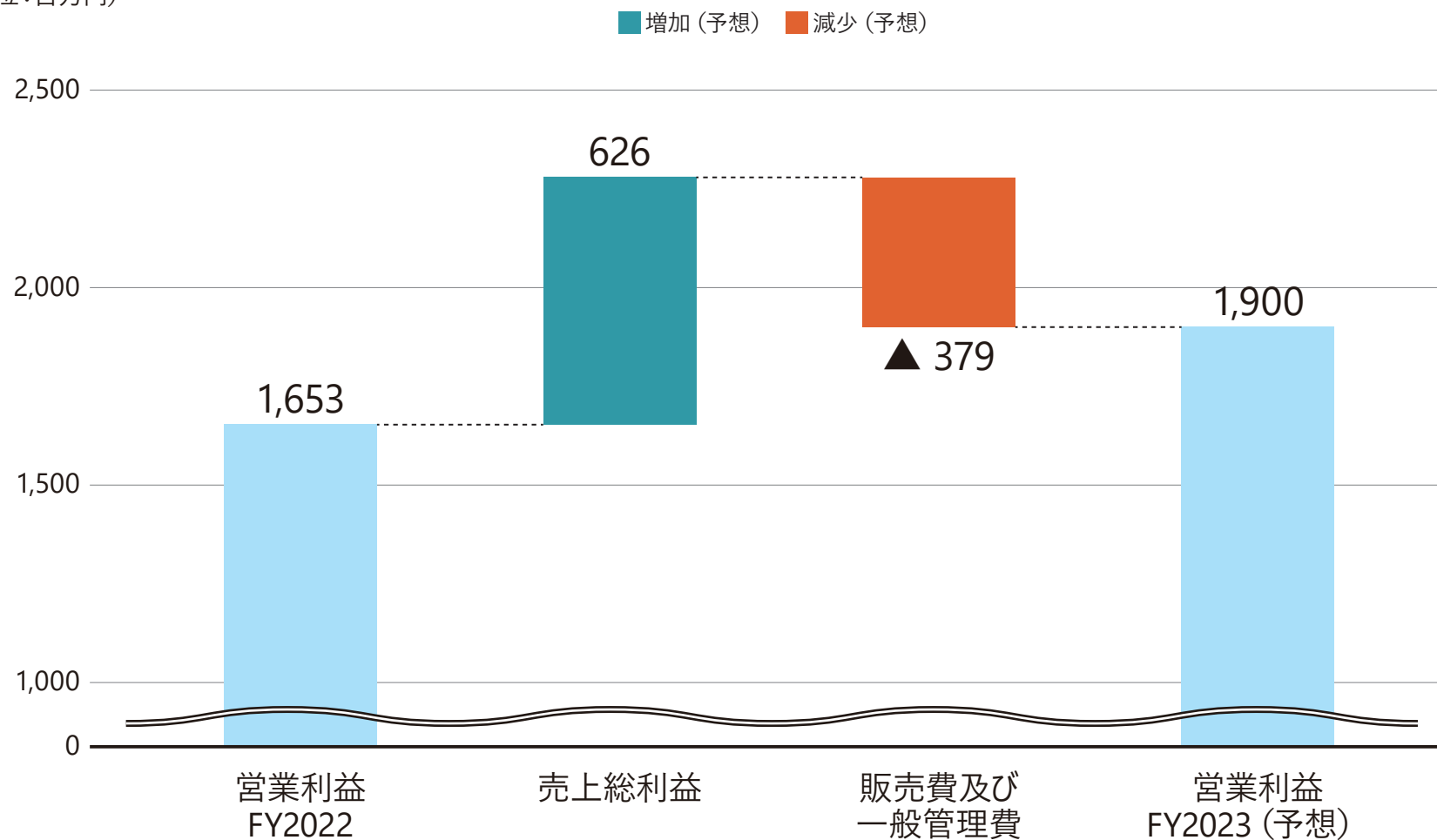
リテール台数増加により売上総利益は増益となり、売上高総利益率は FY2022 と同水準を想定。

(単位:百万円)



主に店舗開発による地代家賃、CRM 強化によるシステム開発費などの管理費が増加する想定。

(単位:百万円)



基本方針

安定的な配当を行うことを念頭に置きつつ、業績等を勘案したうえで配当金額を決定

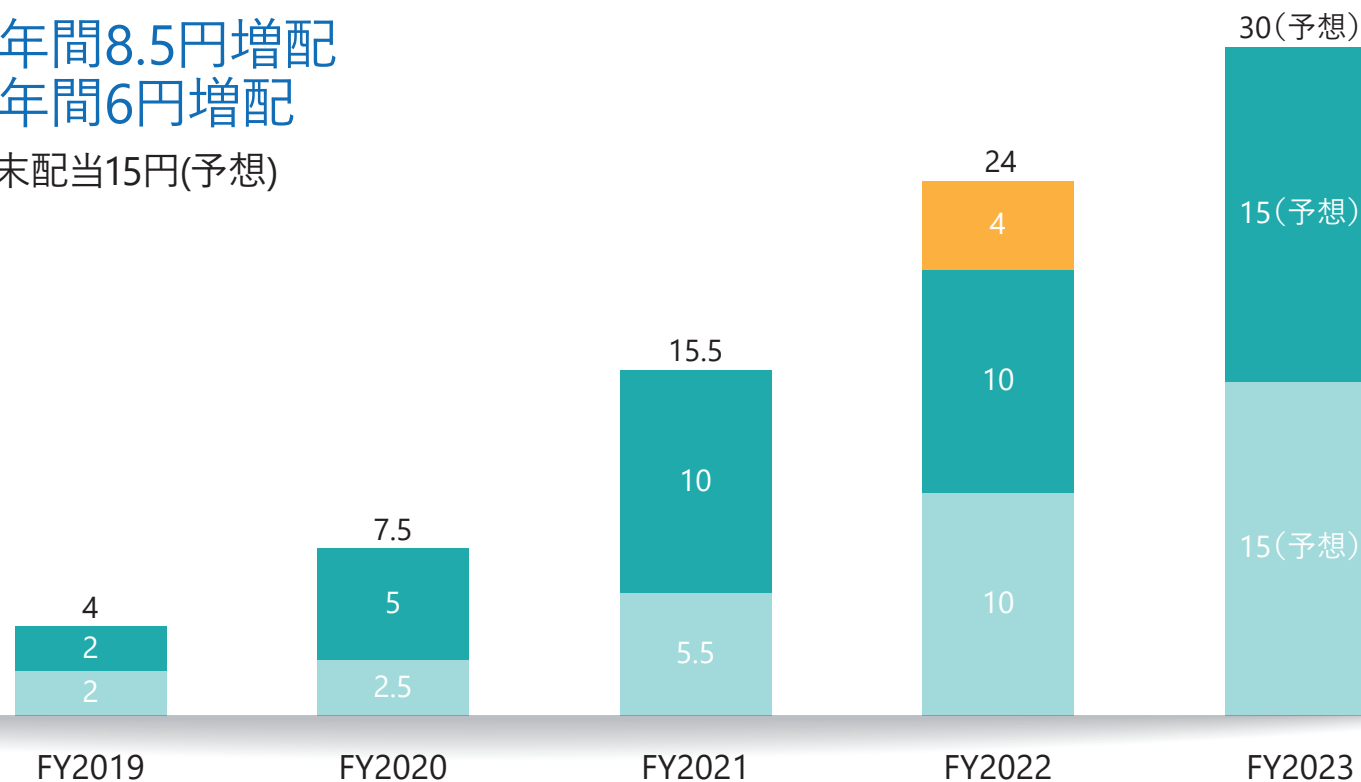
1株当たり配当金額

FY2022はFY2021実績から **年間8.5円増配**

FY2023はFY2022実績から **年間6円増配**

- 中間配当15円(予想) / 期末配当15円(予想)
- 配当性向28.5%

- 特別配当
- 期末配当
- 中間配当



	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
1株当たり年間配当金	4円	7.5円	15.5円	24円	30円(予想)
配当性向	27.1%	17.6%	17.7%	21.6%	28.5%
1株当たり当期純利益	14.74円	42.55円	87.80円	110.99円	105.26円

FY2023 1st Quarter

取り組みの進捗

FY2022

売上高総利益率の低下は、以下を理由に想定内

- 高価格帯の構成比率がより上昇
- 車両売上単価が大幅に上昇
- 売上総利益額は大幅に増加
- 売上高総利益率は低下 (高価格帯の車両は率が低い、低価格帯の車両は率が高い設定)

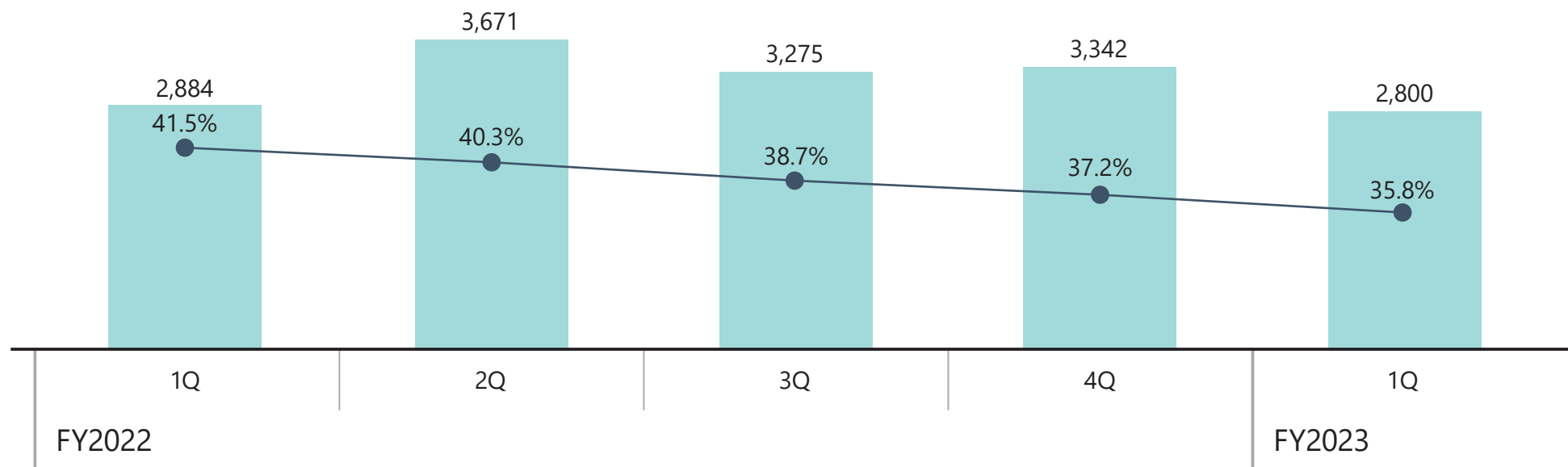
FY2023 1Q

売上高総利益率の低下は、以下を理由に想定外

- さらにリテールを強化するため、仕入台数の確保に注力。結果、一部仕入価格に上振れ発生。

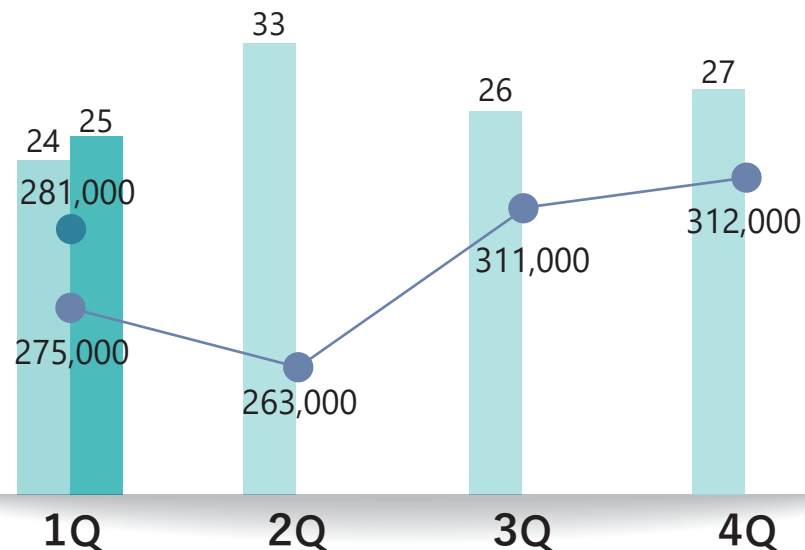
足元においては現状の相場状況を踏まえたより厳格な原価管理の徹底を進めており、上記の課題は改善傾向にある。引き続き、リテールビジネスの拡大を目的とした仕入強化を推進していく。

■ 売上総利益 (単位:百万円) ● 売上高総利益率



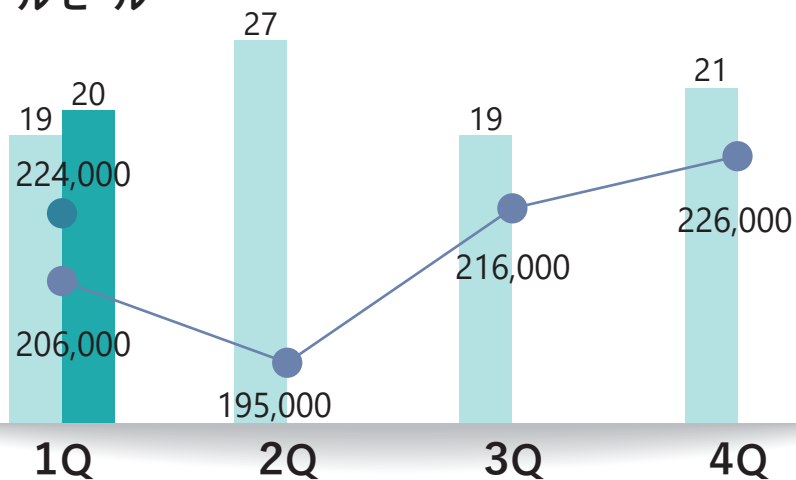
オークション相場ならびにリテール市場は堅調、販売台数と車両売上単価は伸長

バイク事業

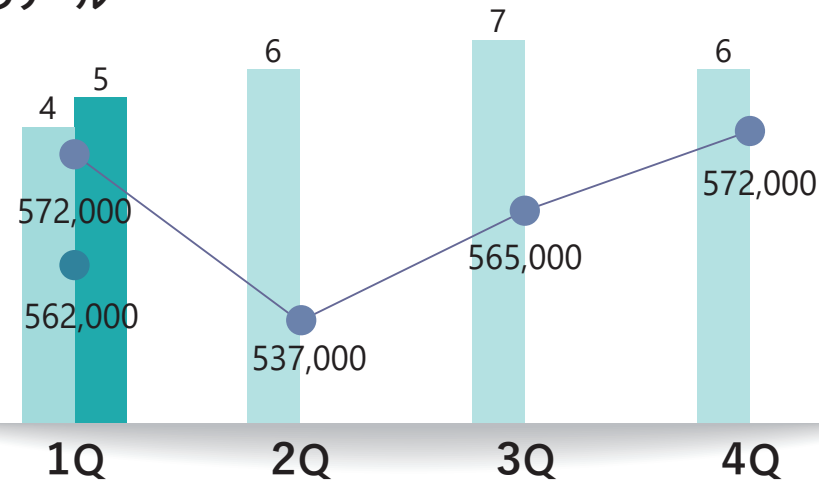


- FY2022 販売台数 (単位:千台)
- FY2023 販売台数 (単位:千台)
- FY2022 車両売上単価 (単位:円)
- FY2023 車両売上単価 (単位:円)

ホールセール



リテール



店舗の開発状況は、計画11店舗に対し、9店舗の開発が見込めており、順調に推移
積極的な出店を軸に、更なるリテールビジネスの成長が期待できる

1Q

バイク王
練馬店
(東京都練馬区)

在庫台数：
約70台



2Q

バイク王
茅ヶ崎
絶版車館
(神奈川県茅ヶ崎市)

在庫台数：
約100台



2Q

バイク王
岡崎店
(愛知県岡崎市)

在庫台数：
約110台
SEED岡崎店(ライコランド)
併設

2Q (4月20日)
オープン予定！



2Q

Beat&C
京都八幡店
(京都府八幡市)

在庫台数：
約55台
ナップス京都八幡店
併設

2Q(4月28日)
オープン予定!

東京都
福生市
M規模店

3Q
オープン予定!

新潟県
新潟市
M規模店

3Q
オープン予定!

福岡県
福岡市
M規模店

3Q
オープン予定!

福岡県
北九州市
M規模店

3Q
オープン予定!

東京都
世田谷区
M規模店

4Q
オープン予定!

本体事業 1Q

初売りを開催！
毎年好評のお年玉車両は
300台以上をご用意！

バイク王の初売り 2023
1月4日(水) 11時 ~ 1月9日(日) 19時

今年も 300台超！ お年玉車両 手奪戦

例えば!! REBEL 250
現金販売価格 GLOBO 蘇我店
¥498,000 (税込)

型式	254	最高出力(馬力)	2000
モデル番号	2517	全長(mm)	2150
全幅(mm)	750	全高(mm)	1450
全重(kg)	205	タンク容量(L)	18

※最新のバイク王定期刊行誌「バイク王」にて、全国のバイク王店舗の購入申し込みが可能です。ご購入申し込みは先着順となりますので売り切れとなる場合があります。※期間の経過や在庫切れにより販売中止となる場合があります。※各店舗の在庫状況は随時変動しております。販売価格は店頭価格となります。バイク王の初売りに参加する店舗は別途告知しております。

本体事業 1Q

バイク王初！KeePerコーティングの
サービスを導入！全国店舗にて開始！！

雨が降れば、洗車したような美しさ

ECO PLUS DIAMOND KeePer ECOダイヤ

メンテナンスで3年間耐久
2年(又は1年)に1回のメンテナンスで6年間耐久

本体事業 1Q

株式会社ベアーズと業務提携および
フランチャイズ契約を締結し
ハウスクリーニングを開始



本体事業 1Q

バイク王の高い整備技術で蘇った
ヤマハの名車、SR400が当たる
キャンペーンをスタート！

バイク王 会員限定

バイクに乗る
楽しさ、高揚感
をもう一度

バイク王の整備で蘇った

レンタル24時間
無料券も当たる

SR400が当たる

本体事業 2Q

レンタルバイクを定価の50%OFFで
利用できるキャンペーンを実施



本体事業 2Q

バイク王が買い替え金利0円
キャンペーンをスタート

準備金ゼロでも!

バイク王で買い替えると
金利0円 60回まで

今すぐ欲しいバイクに乗ろう!

期間 ~5月28日

※期間中にバイク王で26cc以上のバイクを購入し、同時に26cc以上のバイクを売却する方が対象です。バイク王会員の登録が必要です。

本体事業 1Q

新TVCMを公開！
愛され続ける名車たちを
バイク王の整備力で次世代へつなぐ！



本体事業 1Q

本社移転、
本社機能と営業店舗(旗艦店)を併設



本体事業 2Q

第50回東京モーターサイクルショーへ出展



子会社事業 1Q

ブランド品の買取・中古販売を開始！
1号店として「BRAND OFF 買取専門
文京白山店」をオープン！



子会社事業 1Q

上野・昭和通りに電動モビリティの
セレクトショップ1号店
「e-bike UENO」をにオープン！



子会社事業 1Q

中古バイクパーツ・用品の
アップガレージライダーズを宇都宮にオープン！



【参考資料】 会社概要等

会社名	株式会社バイク王&カンパニー
本社所在地	〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 13階
事業内容	バイクライフのあらゆるサービスと、バイクにつながる周辺事業を展開し、バイクライフを超えたライフデザイン企業
設立	1998年9月（創業1994年9月）
決算期	11月
資本金	590百万円（FY2023 1Q）
売上高	33,480百万円（FY2022）
従業員数	991 名（FY2023 1Q）
証券コード	3377 東京証券取引所スタンダード市場
役員	代表取締役社長執行役員 石川 秋彦 取締役会長 加藤 義博 取締役常務執行役員 大谷 真樹 取締役常務執行役員 澤 篤史 取締役執行役員 小宮 謙一 取締役 常勤監査等委員 上沢 徹二 取締役 監査等委員(社外) 三上 純昭 取締役 監査等委員(社外) 森 順子

1994年	9月	前身となるメジャーオート(有)を設立
1998年	9月	(株)アイケイコーポレーションを設立(現 当社) その後、グループ会社を順次統合
2002年	12月	「バイク王」として看板を備えた初のロードサイド店舗を出店
2004年	2月	バイク王のテレビCMの放映を開始
2005年	3月	独自の基幹システム「i-kiss」が本格稼働
	6月	ジャスダック証券取引所に上場
2006年	3月	駐車場事業を営む(株)パーク王を設立 (2012年当社に吸収合併)
	8月	東京証券取引所市場第二部に上場
2009年	8月	バイク買取専門店「バイク王」100店舗を達成
2010年	12月	決算期の変更 (8月⇒11月)
2011年	3月	(株)ユー・エス・エスおよび(株)ジャパンバイクオークションとバイクオークション事業に関する業務・資本提携を開始
	4月	(株)ジャパンバイクオークションの株式取得(当社出資比率：30.0%)により、同社を関連会社化
2012年	9月	商号変更(旧社名：(株)アイケイコーポレーション)
2014年	2月	東京都港区に本店を移転
2016年	1月	ロゴマークを統一し刷新
	11月	(株)G-7ホールディングスと資本業務提携を締結
2017年	2月	監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行
	11月	駐車場事業を新設分割と株式譲渡の方法により譲渡
2019年	12月	「株式会社ヤマト」の株式取得(当社出資比率：100.0%)により、同社を完全子会社
2020年	11月	受付業務の停止リスクを分散するため、「第三コンタクトセンター」を新設
2021年	4月	車輛とその用品・部品を取り扱うECサイトを営む子会社「株式会社バイク王ダイレクト」を設立
2022年	4月	FCおよび業務提携による新規事業の開発と運営を担う子会社「株式会社ライフ&カンパニー」を設立
	12月	「株式会社オズ・プロジェクト」の株式取得(当社出資比率：100.0%)により、同社を完全子会社化 (株)ベアーズと業務提携を開始、ハウスクリーニング事業に関するフランチャイズ契約を締結

全国に広がるバイク王&カンパニーのビジネスネットワーク

(2023年4月4日現在)

■ 本社

■ バイク王店舗 72店舗
(内、複合店:69店舗)

■ コンタクトセンター〈さいたま〉

■ 第二コンタクトセンター〈秋田〉

■ 第三コンタクトセンター〈山口〉

■ 横浜物流センター

■ 神戸物流センター

■ 寝屋川物流センター

	複合店	買取店
北海道・東北エリア	4	1
甲信・北陸エリア	4	-
関東エリア	27	2
東海エリア	8	-
近畿エリア	14	-
中国・四国エリア	5	-
九州・沖縄エリア	7	-

(単位:店舗)

保有台数の推移

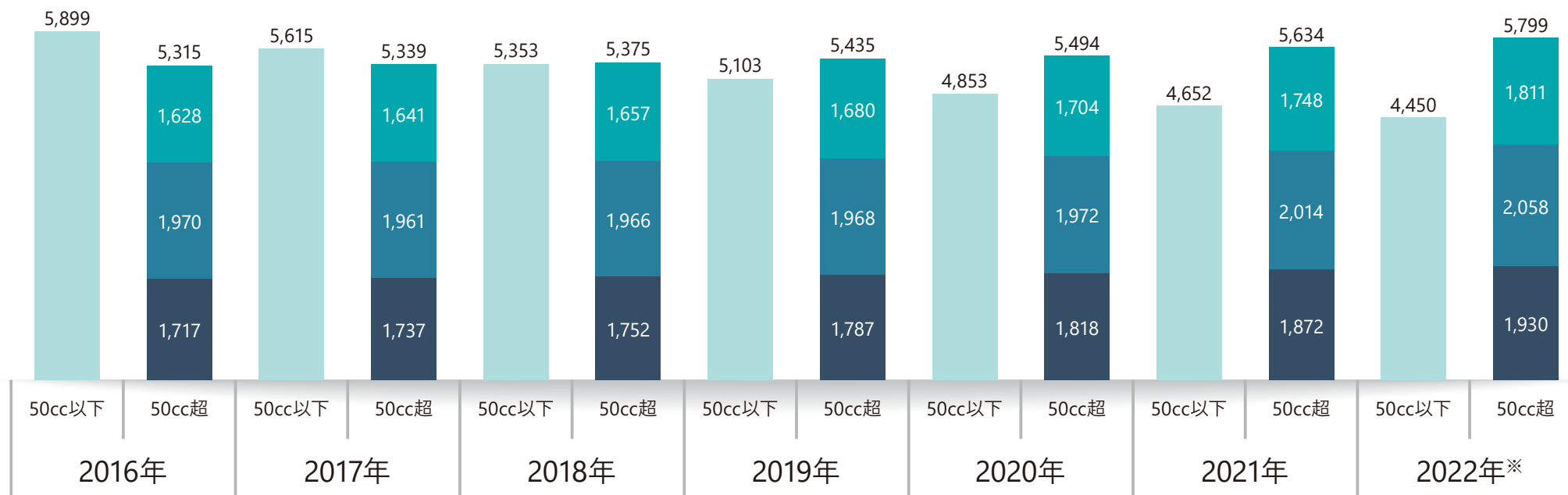
当社の主力仕入とする高市場価値車種である

原付二種以上は前年を上回る

なお、2022年の高市場価値車種においても増加が見込まれている

- 原付一種（～50cc）
- 原付二種（51cc～125cc）
- 軽二輪（126cc～250cc）
- 小型二輪（251cc～）

（単位：千台）



出典：一般社団法人日本自動車工業会／各年3月末日ベース

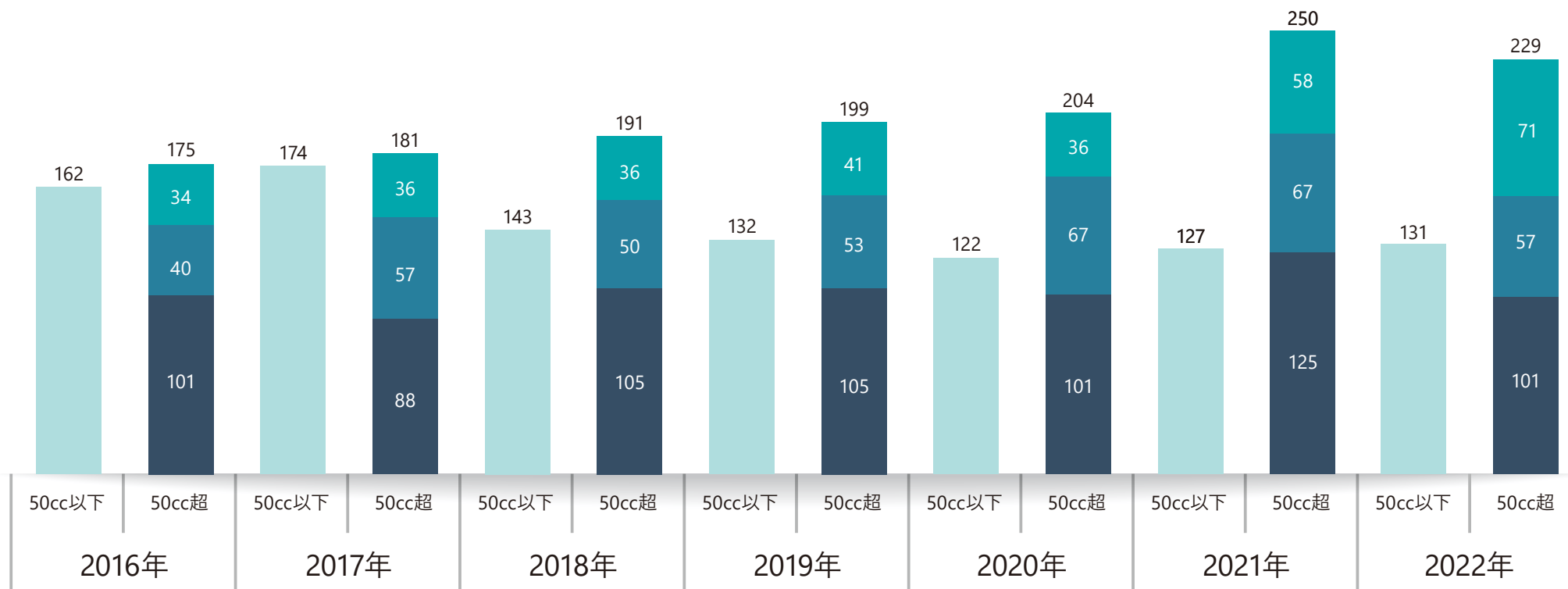
※出典：(株)二輪車新聞社／各年3月末日ベース／原付一種・二種は推定値

新車販売（出荷）台数の推移

高市場価値車種である原付二種以上は前年を下回る

- 原付一種（～50cc）
- 原付二種（51cc～125cc）
- 軽二輪（126cc～250cc）
- 小型二輪（251cc～）

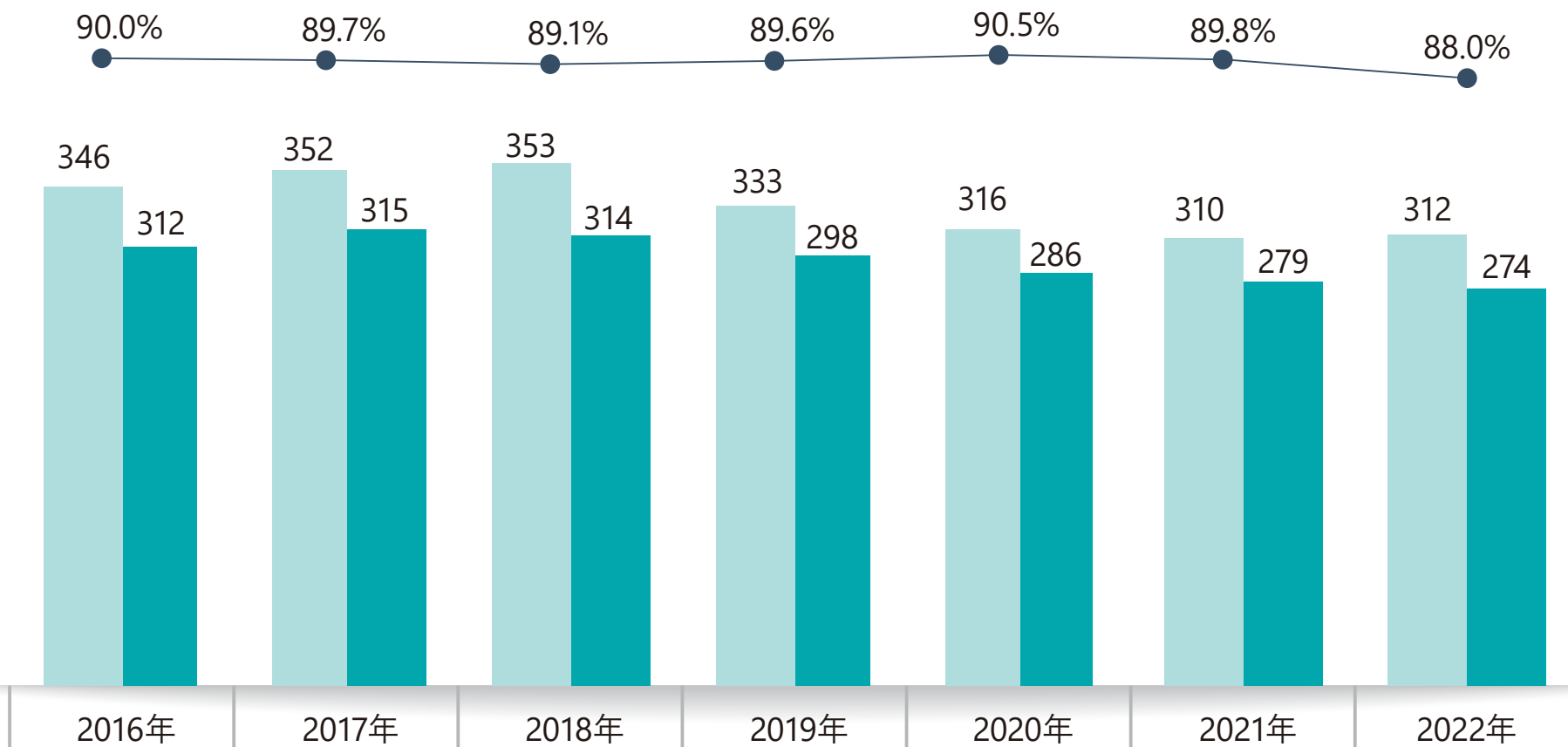
（単位：千台）



出典：一般社団法人日本自動車工業会／暦年ベース

当社の主要販売先であるバイクオークション市場の動向

■ 出品台数 ■ 成約台数 ● 成約率
(単位：千台)

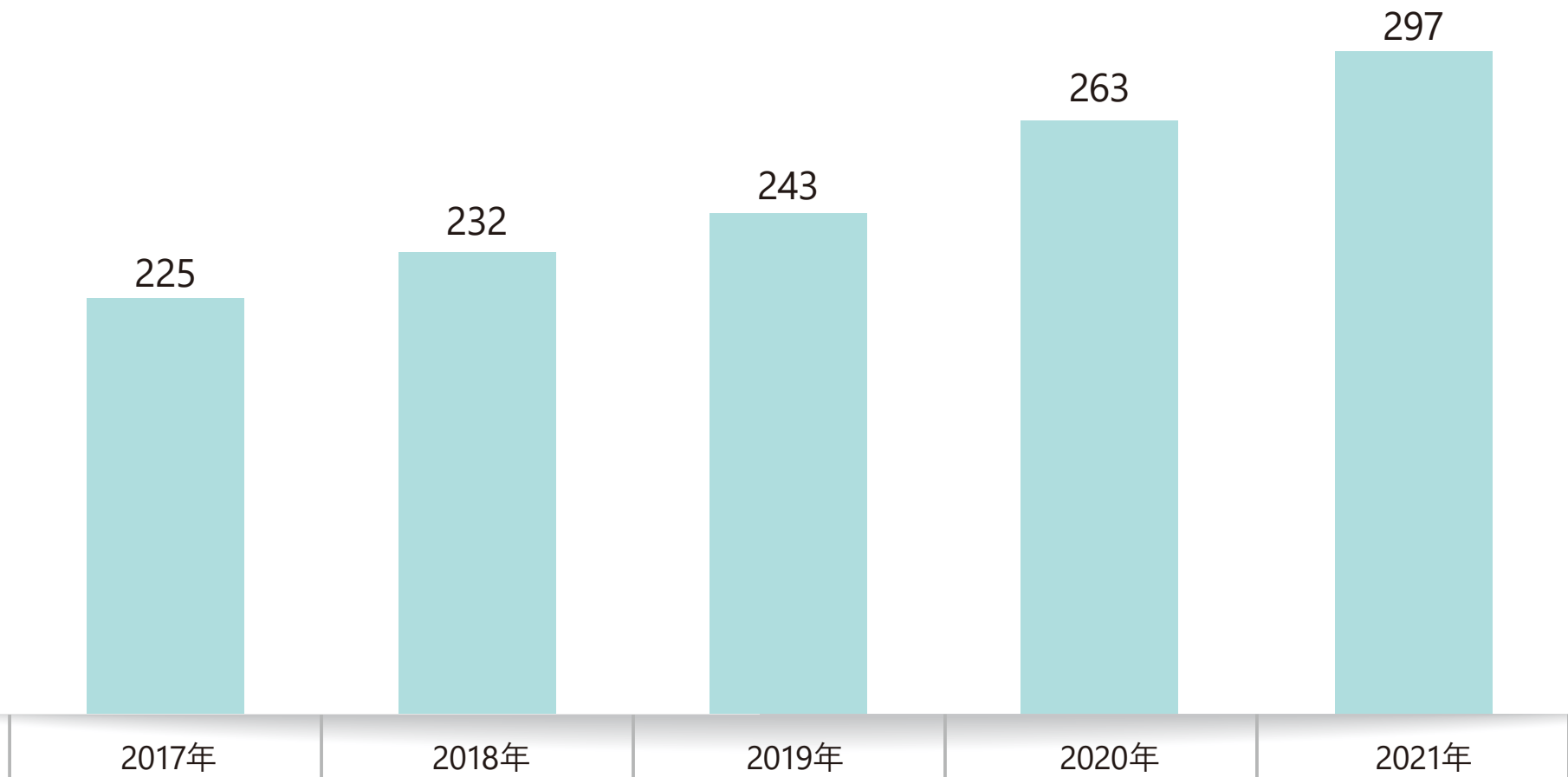


(注) 主なオークションの統計データであり、オークネット社の実績は含まれておりません。出典：(株)二輪車新聞社

免許取得者数(普通・大型二輪免許合計)

免許取得者数は年々増加傾向にある

(単位：千人)



※出典：警察庁／暦年ベース／失効後の再取得や外国免許切り替え者を含まない

		モビリティ事業	レジャー・アウトドア事業	ライフスタイル事業
リユース	自社	<p>バイク買取・販売 (バイク王)</p>	重点開発領域	
	FC事業提携	<p>車買取・販売 (ラビット・カーネットワーク)</p> <p>中古バイクパーツ・用品の買取・販売 (アップガレージ ライダース)</p>		<p>ブランド品買取 (K-ブランドオフ)</p>
リユース 以外	自社	<p>新車販売 (KTM小山)</p> <p>パーツ・用品のEC販売 (オズ・プロジェクト)</p>	<p>電動モビリティ販売 (e-bike)</p>	<p>レンタルバイク (バイク王)</p> <p>保険販売 (バイク王)</p>
	FC事業提携	<p>整備・メンテナンス</p>	重点開発領域	<p>ハウスクリーニング (ベアーズ)</p> <p>車輻コーティング (Keeper技研)</p>

本体事業
子会社事業

- 本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績が言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあります。

【連絡先】 広報 IR グループ IR チーム

TEL : 03-6803-8855

<https://www.8190.co.jp/>